

提言 「科学技術イノベーションの実現のために、真の司令塔機能強化を」(概要)

Abstract

科学技術イノベーション戦略本部の司令塔機能の強化を行うためには、文部科学省の企画立案機能を同本部に移行し、一元化する必要がある。また、巨額な科学技術予算を「成果」に結びつけるためには、「科学」と「技術・応用」の研究領域に明確に分けることで、それぞれの領域での予算配分の方針や評価方法を見直さなくてはならない。これらの前提として構成メンバー及び事務局員の選出プロセスの透明化と利害関係の排除が必須である。

1. 背景

1) 国の科学技術政策と課題

国の科学技術政策について、産業界としては以下のような問題を感じている。

多大な投資に対しての具体的な成果を強く感じられない
省庁の縦割りの壁により予算の固定化が起り、研究テーマの新陳代謝が起きにくい
研究開発の評価方法が曖昧なために、評価の結果が新たな政策に反映されていない

これらの原因の一つとして、国の科学技術の司令塔であるはずの総合科学技術会議が、その役割を十分に果たしていなかったことが考えられる。

2) 総合科学技術会議の科学技術イノベーション戦略本部への改組

2011年11月より「科学技術イノベーション政策推進のための有識者研究会」によって、司令塔機能強化のための検討が開始された。そして同年12月には科学技術イノベーション戦略本部への改組案が報告書としてとりまとめられ、今後、国会での審議が予定されている。経済同友会ではこの改組のタイミングに合わせ、司令塔組織の再編を実効性のあるものにするべく、本提言のとりまとめを行った。

2. 提言「科学技術イノベーションの実現のために、真の司令塔機能強化を」

1) 組織再編による司令塔機能強化

提言1 政府は、科学技術イノベーション戦略本部に司令塔機能の明確な一元化を行え

【提言1の具体的対応案】

- 1 - 1 科学技術イノベーション戦略本部への企画立案機能の一元化のために、文部科学省設置法の企画立案機能に該当する部分(第二章 第一節 第四条 四十四～四十七)を削除すべきである。
- 1 - 2 文部科学省の科学技術・学術審議会等の機能は、科学技術イノベーション戦略本部に移行し、新たな諮問機能とすべきである。
- 1 - 3 科学技術関連のシンクタンク機能(文部科学省 科学技術政策研究所など)については、科学技術イノベーション戦略本部に移行すべきである。

2) 科学と技術・応用の切り分けによる評価方法の明確化と効率化

提言2 科学技術イノベーション戦略本部では、科学に関する研究開発と、技術・応用に関わる研究開発を切り分け、それぞれの領域について明確に方針を打ち出せ

【提言2の具体的対応案】

- 2 - 1 科学に関する研究については一定の予算を確保し、必要に応じて基金化を行うなどして、長期・大型の投資を担保せよ。
- 2 - 2 技術・応用に関する研究については、競争的資金を中心とし、新陳代謝や競争原理によって開発を推進せよ。

提言3 科学技術イノベーション戦略本部では、各々の領域の研究開発プログラムについて、実効性のある研究開発評価方法を確立せよ

【提言3の具体的対応案】

- 3 - 1 科学の領域、技術・応用の領域の両方について、識者の意見を反映できる、実効性のある評価方法を確立せよ。
例えば、相対的に一定の割合のプログラムが入れ替わるような評価結果の配分の目安を示すなどが考えられる。
(現状の評価結果は全くチェック機能を果たしていないため)
- 3 - 2 技術・応用領域での研究開発テーマについては目標と評価方法について全て定量化せよ。

3) 組織再編・強化の前提

提言4 科学技術イノベーション戦略本部では、組織構成メンバーの透明性の高い選出方法の確立と利害関係の排除を

【提言4の具体的対応案】

- 4 - 1 科学技術イノベーション戦略本部では、オープンに構成メンバーを選ぶ仕組みを確立せよ。必要条件の明示による公正な選出が前提であり、さらには候補者の公募の仕組み等についても検討すべきである。
- 4 - 2 従事する関係者は出向元省庁からの切り離しを行い、専任化を行え。民間からの参画の割合を定めよ。